

健康宣言

済生会熊本病院にとって、「職員」は最も大切な財産です。
すべての職員が心身ともに健康で、明るく、安心して働ける職場環境を実現することを宣言します。
力を合わせ、医療を通じて、地域社会に貢献します。

2019年4月1日

院長 中尾 浩一

【推進体制】

当院は2013年に院長直轄組織として専門スタッフ(産業医・保健師・臨床心理士・事務)の常駐する「職員健康管理室」を立ち上げ、職員の健康維持、増進に関する計画の立案、施策を展開しています。計画は管理運営会議の承認を経て、病院の運営方針の一つとして実行されています。

【主な取り組み】

1. からだの健康管理
 - ・ 健康診断
 - ・ 予防接種
 - ・ 体調不良時の応急処置・一時休養
2. こころの健康管理
 - ・ ストレスチェック
 - ・ カウンセリング
 - ・ セルフケア、ラインケア研修
3. 働きやすい職場環境管理
 - ・ 長時間勤務者の面談
 - ・ 有給休暇の取得促進
 - ・ 治療と仕事の両立支援
 - ・ 育児と仕事の両立支援
 - ・ ハラスメントに関する相談
4. 健康増進活動
 - ・ 健康イベントの開催
 - ・ 健康セミナーの開催
 - ・ クラブ活動の支援

以上

院長メッセージ

「健康経営への取り組み」

健康経営とは企業等が良好な職場環境を整えることで「職員の健康」を積極的にサポートし、それを経営的な視点でとらえて、生産性の向上につなげることを言います。米国の経営心理学者、ロバート・ローゼンが提唱した「ヘルシー・カンパニー」、すなわち「健康な従業員が良好な経営の源泉」という考え方に始まりました。病院においては、「職員の健康」を基礎として、より良質な医療を提供しようとする考え方です。

当院ではスタッフが心身ともに健康で、明るく、安心して働ける職場環境を目指しています。人の生命を預かる私たちの仕事には大きな責任が伴います。そのストレスは決して小さくありません。だからこそ、職員が互いの健康を意識し、尊重し、行動することに重きを置いています。当院では労働時間や衛生環境をはじめとする健康管理全般を担う人事部門に加え、「職員健康管理室」の機能をさらに充実させ、職員の健康を当たり前のこととする取り組みを行ってまいります。

地域の皆さんの健康を担う信頼される病院であり続けるため、当院職員の健康をも積極的に支援して、「医療を通じて地域社会に貢献する」という理念のもと、「救急医療」、「高度医療」、「地域医療と予防医学」そして「医療人の育成」のさらなる充実に努めてまいります。